

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和5年度）

施設名	吹田市花とみどりの情報センター	所管部室課名	土木部公園みどり室
所在地	吹田市津雲台1-2-1	設置年月日	平成24年（2012年）9月3日

1 施設の概要

(1)設置目的	花とみどりに関する情報の普及を図るとともに花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、もって緑化意識の高揚に資することを目的とする。
(2)規模、開館日等	【規模】 展示室1室 講習室1室 【開館日時等】 開館時間:10:00～18:00 休館日:月曜日、祝日（祝日が月曜日と重なったときは、その翌日も休館）、12月29日～1月3日、みどりの日は開館

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	株式会社日比谷アメニス					
(2)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内 容	ア 事業の実施に関する業務 イ 使用の許可に関する業務 ウ 使用料の徴収に関する業務 エ 施設及び付属設備等の維持管理に関する業務 オ アからエのほか、センターの管理に関し市長が必要と認める業務					
(5)指定管理者 の収支			令和4年度		令和5年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収 入	指定管理料 又は利用料金（円）	25,564,000	25,564,000	25,564,000	25,564,000
		自主事業（円）	-	309,769	-	273,154
		その他（円）				
	支 出	管理経費（円）	25,564,000	25,794,759	25,564,000	25,629,012
		自主事業（円）	-	174,774	-	175,872
		その他（円）				
	収支差額（円）		0	-95,764	0	32,270

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和4年度		令和5年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	市民等による都市公園等の活用の促進 ・「つかうPJ」の活動支援件数	10	5	10	9
2	公園樹木・街路樹の良好な維持管理のための市民協働の促進 ・「すいたの樹木ガイド」の参加者数	200	186	200	185
3	地域での花とみどりのまちづくり活動の活性化 ・「はなみどガーデンセミナー」の参加者数	60	79	60	98
4	花とみどりに係る活動の支援 ・「花とみどりのフェア」のイベント参加者数	3000	3600	3000	2500
5	花とみどりに係る活動の支援 ・講習会等の参加者アンケートによる満足度	70	96	70	96

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	ア 日報への相談・問合せ・苦情・要望・称賛の記録（通年実施） イ 講習会等参加者アンケートの実施（毎回実施）
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあつた。 ア 樹木ガイドに参加して、普段何も考えずに公園に行っていたが、木にも興味が湧いた。季節の違うときにまた違う植物の話を聞きたい。 イ プランツギャザリング講習会の頻度を多くしてほしい。
(3)結果を受けての対応状況	ア 樹木ガイドは、一年間を通じて行っており、なるべく季節の草木の説明を盛り込むようにしている。 イ プランツギャザリング講習会の定員数を増やした。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	園芸相談に対して、モニター設置や筆談を実施し、利用に抵抗がないように取り組んでいる。子連れの方が施設に足を運びやすいように、子供スペースを設置している。講習会やイベントに関しては内容を見直し、子供も含めた幅広い方が参加できるよう実施している。
(2)施設の効用の発揮	自主事業として園芸販売を行い、施設の利用促進・利便性の向上に努めている。千里南公園が近接している立地を活かし、公園を使った取組みやイベントを行っており、センターに足を運ぶ機会のない人にも情報発信を行っている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	必要な資格者を配置しているとともに、安定した管理運営を行う体制が確保できている。また、オンラインを含めた研修を定期的に行い、能力の向上に努めている。経営に関しては、経理帳簿を備え、適切に経理事務を行っており、会社も安定的な管理運営が可能な財政的基盤を有している。
(4)施設の管理経費の縮減	社内でシステム管理によるペーパーレス化に取り組んでいる。また、不要な照明の消灯、温湿度計による空調温度の適正管理や、クールビズ・ウォームビズに対応した制服の改善など、環境に配慮している。
(5)効果的な事業運営	公園を「つかう」プロジェクトとして、「はなみどサテライト」を年6回と「花と緑のフェア」を開催し、多くの人が訪れた。「はなみどサテライト」においては、公園にて、園芸相談や「公園の使い方」などで市民とのコミュニケーションをとる機会が増えた。また市民や事業者による公園でのイベント企画の支援を9件行い、そのうち2件は、「花と緑のフェア」で情報センターを知った団体であり、千里南公園でイベントを行った。
(6)総合評価	管理運営方針に沿って、公の施設として適切に運営されている。Instagramを中心としたSNSを利用した情報発信を行っており、市民へのイベント周知や公園の利用促進の向上を行っている。各イベントのアンケート評価は高いが、日々多様化している市民ニーズに対応した事業展開が今後も必要である。